

第2学年 図画工作科学習指導案

日 時	平成24年9月3日（月）5校時
場 所	山田町立織笠小学校 2年教室
児 童	男子6名 女子4名 計10名
指導者	小林 崇 史

1 題材名「ゆめののりもの」

2 題材について

(1) 児童について

本学級では、造形活動に意欲的に取り組んでいる児童が多く、どの子も自分の好きな形や色で思いのままに表すことを楽しんでいる。しかし表現の始まりにおける発想・構想の場面では、自分の表したいことを具体的にイメージしたり、アイデアを広げたりすることが苦手な児童も少なくない。

児童はこれまで「どうぶつさんのおうち」の学習で、粘土で作った動物にあった家を、空き箱などの材料をもとに、作品にする学習をしてきている。発想・構想の場面では、表したい家の形について想像を広げる活動を行った。しかし、どんな家にするか友だちと話し合ったり、進んで動物の気持ちを想像したりして、自分なりの具体的なイメージをもつことのできた児童は少なかった。

(2) 題材について

本題材は、学習指導要領第1学年及び第2学年の目標（2）「造形活動を楽しみ、豊かな発想をするなどして、体全体の感覚や技能などを働かせるようにする」を主なねらいとし、指導内容A表現の（2）「感じたことや想像したことを絵や立体に表す活動」の指導事項のア「感じたことや想像したことから、表したいことを見付けて表すこと」、イ「好きな色を選んだり、いろいろな形をつくって楽しんだりしながら表すこと」を主な内容として設定した題材である。

この時期の児童は、かいたりつくったりする活動そのものを楽しむ傾向がある。周りの友人と話をしながら、かいている絵のお話を広げたり、つくっているものを変化させたりする姿もある。本題材では、「夢の乗り物に乗って出かけよう」という投げかけから作品作りが始まり、「何に乗ったら楽しいか」「どんなところへ行きたいか」「行った場所でどんなことをしたいか」というストーリーによって想像を広げながら造形活動が展開される。このような設定の本題材は、児童の発達段階に合った内容としてふさわしいと考えられる。

(3) 指導にあたって

児童の発想・構想を広げるため、身の回りにある乗り物（自動車や電車など）にこだわらず、乗り物について考えやすいように、事前に昔話や絵本など、児童の自由な発想を広げるような内容のものについて読み聞かせを行う。

表現の始まりにおける発想・構想の段階では、題材に対する関心意欲を高めるために、乗り物が出てくるお話や絵本を紹介する。その後、「夢の乗り物に乗って出かけよう」という投げかけを行い、どこに行きたいのか、どんな手段で行くのか想像を膨らませる。乗り物のイメージを広げるために、どんな形や色だったらよいか自分の考えを発表させ、互いの意見を聞くことでさらにイメージの具体化を図る。

表現の過程における発想・構想の段階では、教師の作例を見たり、児童が想像したのりものを手を使って空中に描かせたりして、実際に描く前に乗り物の大きさや形を検討することができるようにする。また、友だち同士でかいているものを見合ったり、これからどんなふうにしたいか発表し合ったりして、友だちの工夫を自分の作品に取り入れたり、まわりの様子についてさらに想像を広げたりできるようにさせたい。

創造的な技能を発揮して表現する段階では、乗り物のイメージに合った色や模様をつけたり、まわりの様子に合わせて色の組み合わせを選んだり、遊んでいる様子を描き加えたりしながら、想像をふくらませて表現の工夫をさせるようにさせたい。

鑑賞の段階では、お互いのかいた乗り物に乗せる人形を交換して遊んだりしながら交流することで、それぞれのりものの面白さや形や色の特徴や表し方のよさなどについて感じる事が出来るようにする。自分の作品について友だちから認められることで、自分の作品のよさや面白さに気づかせたり、学習の達成感を感じさせたりしながら、次の活動でも意欲的に取り組もうとする児童を育てたい。

3. 題材の目標

夢の乗り物に乗って出かける様子を自由に想像して絵に表すとともに、描かれたゆめのりものの楽しさや表し方の面白さを味わう。

4. 評価規準

造形への関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
①夢の乗り物に乗って出かける様子を想像して絵に表す活動を楽しもうとしている。 ②想像したことの楽しさや表し方の面白さなどを味わおうとしている。	①夢の乗り物を想像し、それに乗って出かける様子を思いついている。 ②自分のイメージに合わせてのりものの形や色、まわりの様子などを考えている。	自分のイメージに合わせて材料や用具を使いながら、表し方を工夫している。	自分が想像したり工夫したりしたことを話したり、友だちの話の聞いたりしながら、それぞれの作品のよさを感じている。

5. 指導と評価の計画（5時間）

時間	学習活動	評価規準（評価方法）			
		関心・意欲・態度	発想・構想	創造的な技能	鑑賞の能力
1 (本時)	夢の乗り物に乗って出かける様子を想像して絵に表す。	夢の乗り物に乗って出かける様子を想像して絵に表すことを楽しもうとしている。（観察・対話）	・夢の乗り物に乗って出かける様子を思いついている。 ・乗り物の形や大きさ、色などの特徴を考えている。（観察・対話）		

2	乗り物に乗って出かける様子を想像しながら、自分や必要なものを絵に表す。	同上	自分のイメージに合わせて乗り物の形や色、自分の姿や持ち物、まわりの様子などを考えている。(観察・対話)		
3・4	乗り物と自分の姿、周りの様子を組み合わせる絵に表す。	同上		乗り物に色や模様をつけたり、まわりの様子に合わせて色の組み合わせを選んだり、遊んでいる様子を描き加えたりして、表し方を工夫している。(観察・対話・作品)	
5	作った作品について説明したり、友だちの作品のよさを発表したりしながら鑑賞をする。	想像したことの楽しさや表し方の面白さなどを味わおうとしている。(観察・対話)			自分が想像したり工夫したりしたことを話したり、友だちの話を聞いたりしながら、それぞれの作品のよさを感じている。(観察・対話・感想文)

6. 準備

- (1) 教師 画用紙・絵の具・セロハンテープ・カッター・ポリ袋・ダンボール・色紙など
(2) 児童 サインペン・はさみなど

7. 本時の指導

- (1) 目標 乗ってみたいと思う夢の乗り物に乗って出かける様子を自由に想像して絵に表すことができる。
(2) 本時の評価規準

具体的評価規準	A 十分満足できる	B 概ね満足できる	Bに至らない児童への手立て
関心・意欲・態度	夢の乗り物に乗って出かける様子を想像して絵に表すことを楽しむとともに、集中して制作に取り組んでいる。	夢の乗り物に乗って出かける様子を想像して絵に表すことを楽しもうとしている。	○想像した乗り物について対話を通して引き出し明確にさせる。
発想・構想	・夢の乗り物を想像し、それに乗って出かける様子をイメージ豊かに語るができる。 ・乗ってみたい乗り物の形や大きさ、色など	・夢の乗り物を想像し、それに乗って出かける様子を思いついている。 ・乗り物の形や大きさ、色などの特徴を考えている。	○何に乗って、どのような場所に行ってみたいか、どんなことができる乗り物かなどについて、対話を通して具体的にイメージさせていく。

	の特徴について、思いを持って語ることができる。	
--	-------------------------	--

(3) 展開

過程	学習活動 ・ 児童の反応	○教師の働きかけ ◆評価
つかむ (15分)	1 課題を把握する。 ・こないだ聞いたお話だ ・お花に乗って空を飛びたい ・魚に乗って海にもぐりたい	○絵本「バムとケロのそらのたび」「バーバパパたびにでる」を紹介し、内容について想起させる。 ○行ってみたい場所や、乗ってみたい乗り物について自由に出し合いながら、どんな乗り物ならどこへ行けそうか、イメージを広げさせる。 ○今後の学習の見通しについて知らせる。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">ゆめののりものを想像してかいてみよう。</div>	
	2 何に乗って、どこに行きたいかイメージをもつ。 ・くじらだったら飛行船にして空を飛ばせたいな ・タイヤを付けてバスにしたらみんなで乗れるよ ・自分だったら～に乗って～に行ってみたいな ・空に行くには大きな翼があるといいな	○教師が乗ってみたいものを提案し、どんな工夫があったら楽しいか発表させることを通して、どんな乗り物だったらどんな場所にいけるか、具体的なイメージをもたせる。 ○色や形、大きさなどについて児童が比較・検討しやすいように、教師の作品を例示する。 ○乗り物に乗ってどんなことをしたいのか考えを発表し合うことを通して、色や形などの乗り物の特徴について考えさせる。 ○自分の乗り物について、考えができた児童に発言させ、個々のイメージを広げさせる。 ◆夢の乗り物を想像し、それに乗って出かける様子を思いついている。【発想・構想】
あらわす (20分)	3 どんな乗り物にするか、大きさや形などについてより具体的なイメージをもつ。 ・こんな形や大きさでいいかな 4 想像したことをもとに乗り物を絵に表す。 ・海の底でも周りが良く見えるようにライトをつけたいな	○想像したことを絵に表しやすいように、表したい乗り物の「形」や「大きさ」を空中に手で描かせ、より具体的にイメージさせる。 ○どうしてそのように表したいと思ったのか理由を聞くことで、イメージを明確にさせてかかせる。 ◆夢の乗り物に乗って出かける様子を想像して絵に表す活動を楽しもうとしている。【関心・意欲・態度】 ◆乗り物の形や大きさ、色などの特徴を考えている。【発想・構想】
振り返る (5分)	5 友だちと作品を見合う。 ・～さんみたいにもっとこうしたいな。	○隣どうしで作品を見せ合い、これからどんな作品にしていきたいか発表し合い、次時の活動へつなげる。